

2023年6月16日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学

## 〈取材のご案内〉

### SDGs 未来都市東松島市の小学校で出前授業実施

産学官連携による体験型授業（市内の7つの小学校から約280人参加予定）

#### 【ポイント】

- 被災地・東松島市の小学校で「持続可能性と資源循環」をテーマにSDGs出前授業を実施
- 産学官連携（大学、研究機関、自治体、民間企業）による体験型授業を提供
- 持続可能な開発目標(SDGs)の達成、循環経済、地方創生、復興支援に資する持続的な社会連携活動

#### 【概要】

東北大学大学院国際文化研究科国際政治経済論講座の劉研究室は、6月19日から7月18日にかけて、大学、研究機関、自治体、民間企業の協力により、東松島市の小学校を対象に体験型のSDGs出前授業を実施します。同研究室は東日本大震災直後から被災地の小学校で出前授業（復興教育）を実施し、2019年からSDGs未来都市<sup>(注1)</sup>である東松島市の小学校を対象にSDGs出前授業を実施しています。

近年、漂着ごみやマイクロプラスチックのような海洋汚染問題、プラスチック廃棄物資源の海外輸出問題、レジ袋やストローなどの使い捨て用品の増加、コロナ禍の影響による容器包装廃棄物の急増など、世界各国で廃プラ問題に注目しています。また、都市鉱山として携帯電話やパソコンなどのリユースリサイクルにも関心が高まっています。

持続可能な開発目標（SDGs）の達成や循環経済の実現が求められている中、被災地の子供達にこれらの重要性をわかりやすく説明し、プラごみ、再生資源、材質の識別装置などに直接触れる機会を提供することは、通常の授業ではなかなか得られない体験です。本取り組みは産学官連携によって10年以上継続して実施されており、持続可能なまちづくり、地方創生、循環経済の実現に貢献すると期待されます。

当日はご取材いただき、紙面・番組等で広く周知くださいますようお願いいたします。

(注1) 内閣府が2018年度よりSDGsの達成に向けた取組を積極的に進める自治体を公募し、経済・社会・環境の三側面の統合的取組により、新たな価値を創造する提案を行った自治体を認定

■日時・場所	※すべて4年生が対象
1 矢本西小学校	6月19日(月) 9:55~11:30
2 矢本東小学校	6月19日(月) 13:25~15:00
3 赤井小学校	6月20日(火) 9:30~10:45
4 大曲小学校	6月20日(火) 13:45~15:20
5 大塩小学校	7月10日(月) 10:40~11:55
6 鳴瀬桜華小学校	7月18日(火) 10:20~11:55
7 宮野森小学校	7月18日(火) 13:05~14:20

#### ■取材方法

取材申し込みは不要です。当日直接会場にお越しください。  
取材のお問い合わせは下記連絡先をお願いします。

#### ■主催機関：東北大学、東松島市

参画機関：MS&AD インターリスク総研株式会社、株式会社コバヤシ、株式会社青南商事、株式会社ヨシムラ、株式会社 Roots、静岡大学、芝浦工業大学、日本システムケア株式会社、宮城県産業技術総合センター（アップグレードリサイクルコンソーシアム）（五十音順）

#### 【問い合わせ先】

（内容に関すること）

東北大学大学院国際文化研究科

（東北大学グリーン未来創造機構・大学院環境科学研究科 兼務）

教授 劉 庭秀

TEL：022-795-7618

東北大学大学院国際文化研究科

（事務連絡担当）特任講師 眞子 岳

E-mail：gaku.manago.e4@tohoku.ac.jp

（取材に関すること）

東北大学大学院国際文化研究科総務企画係

担当 田中 ひと美

TEL：022-795-7541

E-mail：int-som@grp.tohoku.ac.jp